

＜身近な防虫対策＞

虫が光に集まるということは、皆さんご存知だと思いますが、少しの工夫で虫の多い時期に、家屋に侵入する虫を減らすことができます。

一般的に、ほとんどの飛翔性昆虫には走光性という、夜間などに光に集まる習性があり、基本的には虫は近紫外線の350~400ナノメートルの光の波長域を最も好みます。その光域は人間には感じ取れないものですが、虫にとっては一番強い刺激を受けます。その為、その波長域を含む蛍光灯や水銀灯には多くの虫が集まります。LEDでは紫外線は出ていませんが、可視光域にも多少誘引されます。

光の誘虫率は蛍光灯を100%とすると、水銀灯は400%、LED（白色）は68%ぐらいになるようです。

実際、私の家では蛍光灯の部屋とLEDの部屋とが隣り合っています。蛍光灯の部屋の窓ガラスには多くの虫が集まりますが、LEDの部屋の窓ガラスに集まる虫はかなり少なく、夜間に庭からの出入りをした場合でも、入ってくる虫はすごく少ないです。かといって、LED単体で少なくなるわけではありません。

街灯の少ない場所にぼつんとある自動販売機の照明は、最近ほとんどLEDになっているにもかかわらず、日没後には多くの虫が集まり、買うときに不快感を覚えます。

虫を減らすには低誘虫性と高誘虫性の照明を上手く使い分ける必要があります。

減らしたい箇所には低誘虫性のものを使用し、その少し離れた箇所には、高誘虫性のものを使用します。そうすることで家屋などの周囲に生息している虫を入り口から遠ざけ、人の出入りと共に侵入することを少なくすることができます。

現場によっていろんな状況があると思いますので、宜しければご相談下さい。

＜南但支店・藤原＞



株式会社 昭和リーブス フリーダイヤル 0120-64-7575

- ◆福知山本社 京都府福知山市篠尾新町 2-66 TEL 0773-23-1800
- ◆舞鶴支店 京都府舞鶴市南田辺 72-4 TEL 0773-75-1800
- ◆京都支店 京都府南丹市八木町八木野條 17-2 TEL 0771-43-1800
- ◆エステック 兵庫県朝来市和田山町枚田 794-1 衛生検査所 TEL 079-670-1700
- ◆丹後支店 京都府京丹後市大宮町河辺 3751-1 TEL 0772-64-5480
- ◆南但支店 兵庫県朝来市和田山町枚田 591-2 TEL 079-672-1800
- ◆広島支店 広島市安佐南区八木 6-5-9 TEL 082-830-2811



エステック&リーブス
インフォメーション

Vol.2
平成29年
秋・冬号

巻頭ご挨拶 秋の諸行事



秋は当社にとりまして期の変わり目であり、10月は期のスタートとなりますので全社員が集まる会議（全体会議）を行い、当期の取組方向などを私が話し、社内表彰や講師をお招きし講演会を実施します。皆、真剣な表情で会議に臨んでいます。

午後からは恒例のレクリエーションでボーリング大会を実施します。会議とは違いリラックスし、楽しい時間を過ごしました。

さて、この全体会議で毎回頭を悩ますのが挨拶です。何を話そうか、思案しながら内容を練りますが、中々良い言葉が出てきません。普段思っていることを口にすればよいのですが上手くまとまらないことのほうが多いです。しかし、私の思いを伝えるチャンスですので、出来るだけ前向きな言葉でしっかり話せねばと思っています。

また、全社員が一堂に会す機会は年2回で、全体会議が社員同士の交流の場でもあります。同じ会社なのでやっている仕事は同じですが普段顔を合わせているのは支店内が多く、支店が変われば社員同士で顔と名前が一致しないというケースがあります。私も、入社当初は社

員の顔と名前を思えるのに必死でした。幸い私の場合は、支店を往来する機会が多いので、顔と名前も覚えやすかったです。

顔と名前を覚えることや、支店間の交流が活発になると社内で一体感が生まれ、何をやるにしても他支店の動向も気になり、それなりの相乗効果も期待できていると思っています。

数年前までは、社内でも他支店の状況をよく把握できていない状況もあったように思います。最近は、店長が日報を共有することで支店間における情報交換が積極的に出来るようになりました。

また、部門ごとで会議を行ったり、部門の責任者が横の連携を常に取り合ったり、店長も他店の情報をお互いが交換したりと、努力の結果が現れているものと考えております。そうした状況ですので、全体会議で顔を合わす社員も久しぶりに会う懐かしさや、普段、電話でやり取りしている関係性が出来ていますので非常に全体の雰囲気は良いです。

今回インフォメーションの発行が2回目となりますが、1回目をご覧になられた感想はいかがでしたでしょうか？内容も大切ですが続けることが最も重要な意味を持つと思います。



様々なご意見を頂戴できればありがたいです。

株式会社 昭和リーブス
代表取締役 藤岡良彦

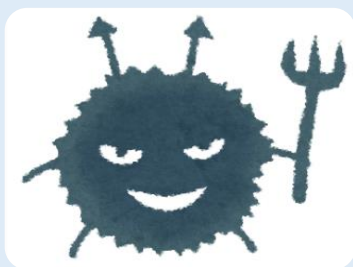
エステック衛生検査所より

～ノロウイルスにご注意！～

ノロウイルス・・・みなさん、もうご存知かと思いますが、ノロウイルスは感染力が非常に強く年間を通じて発生しています。特に冬場は多く発生していますので注意が必要です。

平成 27 年におけるノロウイルス食中毒は、総事件数 1,202 件のうち 481 件 (40.0%)、患者数では総患者数 22,718 名のうち 14,876 名 (65.5%) となっており、事件数、患者数共に第 1 位となっています。

大量調理施設衛生管理マニュアル(厚生労働省)には、ノロウイルスの不活化に次亜塩素酸ナトリウムが有効と記載されています。今回は、次亜塩素酸ナトリウム溶液の作り方等を中心にお話しさせていただきます。



ノロウイルスを失活させるためには、有機物の少ない時には 200ppm 以上、嘔吐物や糞便で汚染されて有機物の多い時には 1,000ppm 以上が必要になります。

市販の塩素系漂白剤(キッチンハイターなど)には次亜塩素酸ナトリウムが 5~6%含まれていますので、50 倍すれば 1,000ppm の次亜塩素酸ナトリウム溶液が出来上がります。500ml のペットボトルの蓋には 5ml 入りますので、500ml のペットボトルに 2 杯分の塩素系漂白剤を入れ、それに水を加えれば 1,000ppm となります。さらに 1,000ppm の次亜塩素酸ナトリウム溶液 100ml に水道水

400ml を加えれば 200ppm の次亜塩素酸ナトリウムが出来上がります。



また保管方法ですが、一般的に直射日光、高温を避け、冷暗所(15℃以下)で保存することが望ましいと言われております。希釈後未使用で 1 カ月程度保存可能といわれていますが、遮光性や保存温度の変化、有機物の有無などによって異なる為、出来るだけ頻りに作り替える方が良いでしょう。次亜塩素酸ナトリウムをペットボトル等で保管する場合は、適切に表示するなど誤飲防止の工夫が必要です。

使用する際はスプレー方式ではなく、布を用いて清拭します。使用する布は白色のものを使用して下さい。色のついたものを使用すると、漂白作用により塩素濃度が下がってくるため、効力が落ちてしまいます。

また、ペーパーを使用する際も白色のものを使い、材質はパルプ 100%のものは有効塩素濃度が低下するため、出来るだけ使用しないようにしましょう。使用する場合には、調整時の濃度を高めにするか、あるいは使用する時間をなるべく短くするという配慮が必要です。木製の表面(手すり等)を消毒する場合には、濃度低下が著しいので、塩素系漂白剤は使用せずノロウイルスにも効果のあるアルコール製剤を使用するようにしましょう(ノロウイルスの不活化条件に関する調査報告書:国立医薬品食品衛生研究所)。 <検査所・西谷>

季節のムシ便り

冬は気温が低いから虫なんていないんじゃないの? そう思われる方は多いと思います。しかし、建物の気密性が以前よりも高くなったり、暖房器具の性能が高くなっていてお陰で真冬でも薄着で生活出来るようになっていませんか?

また、乾燥を防ぐために加湿器を使用されることも多いでしょう。そうすると、室内が高温多湿となり、梅雨時期と同様にカビやダニの発生に適した環境となります。

冬場に最も相談依頼が多いダニは「**ケナガコナダニ**」です。名前の通り、長い毛が生えたコナダニの一種です。(体長約 0.3mm)

ケナガコナダニは、小麦粉やパン粉の他に砂糖やチョコレートなど様々な食品に発生し、条件が良ければわずか数日で大量発生し、粉全体が動いているように見えるほど多く発生する事もあります。ケナガコナダニ自体が人に危害を加える事はありませんが、ダニアレルギーの原因やケナガ

コナダニを捕食するツメダニが発生する事によって、ツメダニが人を刺す被害が発生します。

ダニ類は室温 25℃~30℃、湿度 60~80% を好みますので、発生を防止するために冬だからといって室温の上げ過ぎや加湿器を過度に使用する事は控えた方が良いでしょう。また、食品中での発生を防止するため、小麦粉やお菓子を保管する場所に乾燥剤を置かれると良いでしょう。 <本社研究室・木曾>



支店の窓から(支店便り)



福知山店の店長をつとめる安部良和です。

ゴルフの全米ツアーで 39 勝した日本でも有名なトム・ワトソンが言った言葉

で、「手抜きをすれば敗北を認めてしまう姿勢ができてしまう」と。

「トーナメントで上位を争う時に手抜きする人はいない。問題は下位に沈んだ時だ、どうせ 1 打よくて順位は大して変わらないと、手を抜いてしまいがちになる。

しかし、そうすると自分でもう敗北を認めてしまうことになるし、一緒にまわる人からも軽

んじて見られることにもなる。

最後の最後までベストを尽くす。その試合はだめでも次に繋がることもあるのだ。それに一度でも手を抜くとそれが癖になり自分をスポイル(損なう・台無しにする)することになる。」とトム・ワトソンは言っている。

これはゴルフだけではなく仕事にも言えることだと思う。手を抜いたり、さぼったり、楽をしようと思ったりすると癖になり、いざ全力投球しようと思っても力が出せない、気持ちも上がらなくなってしまう。常に真正面から全力投球できる力を付けること、また部下にもそのような環境を整えることが努めと思っています。